飛翔　人権通信　9月

人権教育・啓発通信：「飛翔」
発　行：那賀川中学校
（№５）2026（令和８）年９月28日（月）
文　責：人権教育主事　中岡　和也



９月も後半となり、少しずつ暑さが和らいで過ごしやすくなってきました。体育祭が近付き、みなさんがこれまで頑張ってきた成果を発揮する時がやってきます。３年生が１・２年生へ優しく丁寧にダンスを教えている姿には、「さすが最高学年だな」と頼もしく感じました。また、それに応えるように１・２年生が一生懸命練習に励む姿にも胸が熱くなります。一人では難しいことも、みんなで笑い合い、励まし合いながら取り組むからこそ、大きな楽しさや喜びに変わるのだと実感します。一人一人が心から達成感を感じられる体育祭にしていきましょう。

さて、今月号では人権標語と人権啓発ポスターを掲載します。全作品を通し、一人一人の個性や多様な価値観を大切にすること、そしていじめや差別を絶対に許さないという力強い思いが伝わってきました。この機会に、日ごろの自分の発言や行動が「誰かを傷付けていないか」「誰かを幸せにできているか」を、今一度静かに振り返ってみましょう。

◇　令和８年度　阿南市中学校人権に関する意見作文発表会
阿南市人権かるた取り交流会

７月29日（水）、那賀川中学校にて「阿南市中学校人権に関する意見作文発表会並びに阿南市人権かるた取り交流会」が開催されました。市内中学校の代表生徒が集い、自身の経験やこれまでの学びをもとに、　様々な人権問題について発表を行いました。

本校からは、３年Ａ組の立石佑葵乃さんが「決めつけないことの大切さ」という題で発表しました。障がいのある方に対する自身の先入観を素直に振り返り、さまざまな出会いを通して「誰に対しても偏見をもたずに関わっていきたい」と力強く語る姿が印象的でした。

大勢の前での発表はとても緊張したと思いますが、周囲の心を打つ素晴らしい発表でした。全力を尽くしてくれた立石さんに、心から拍手を送ります。





◇　人権啓発標語　学校代表が決定

７月に学校や各家庭で考えていただいた人権啓発標語の審査を行いました。審査の結果、次の人権標語が学校代表として選ばれました。今回紹介する人権標語を通して、誰もが過ごしやすい社会にするために自分自身に何ができるのかを考えるきっかけにしてほしいです。また、思いの込もった人権標語を考えてくださりありがとうございました。

＜生徒代表作品＞

３年Ａ組	林　　千授さん	らしさとは　自分で描く　未来の色
２年Ａ組	田渕　里桜奈さん	その一言　誰かの明日を　変えるかも
２年Ｃ組	松下　咲耶さん	「いいね」より　大切なのは　人の心
１年Ａ組	丸本　海翔さん	その言葉　受け止め方で　変わる意味
１年Ａ組	藤本　汰珠さん	ちがう色　混ざればもっと　きれいだね
１年Ｂ組	松本　健吾さん	ありがとう　笑顔に変える　その言葉

＜保護者代表作品＞

立石　　学さん	人権を　子から教わり　親成長
南谷　　唯さん	育てたい　寄り添う優しさ　断る勇気
勢井　宏和さん	挨拶は　心をほぐす　ストレッチ

人権啓発ポスター作品



１年Ａ組
小島　穂志乃さん



３年Ａ組
増田　　怜さん



１年Ｂ組
岩浅　　詩さん



３年Ｂ組
小島　穂野美さん



３年Ｂ組
山下　璃子さん

毎月第１日曜日は「家庭人権学習の日」です

阿南市では毎月第１日曜日を「家庭人権学習の日」としています。家族で、人権について話しをしてみましょう。10月は４日（日）が「家庭人権学習の日」になります。

９月の『飛翔人権通信』を読んでどんなことを感じましたか？自分自身を見つめ直したり、学級や学年でしんどい思いをしている子がいないか考えたりして、今後どのような行動がとれるかを家族の人と話をしてみましょう。